

【解説】インターネットの世界は今、アセンションとそれに伴う高次元世界やその立場からの情報に、溢れかえっている。そこで、我々にはわからないことが少なからず出てくるが、この情報——The Greater Picture—The Galactic Federation——は、すべてとは言わないが、かなり多くの不明な点を明快に説明してくれると思う。

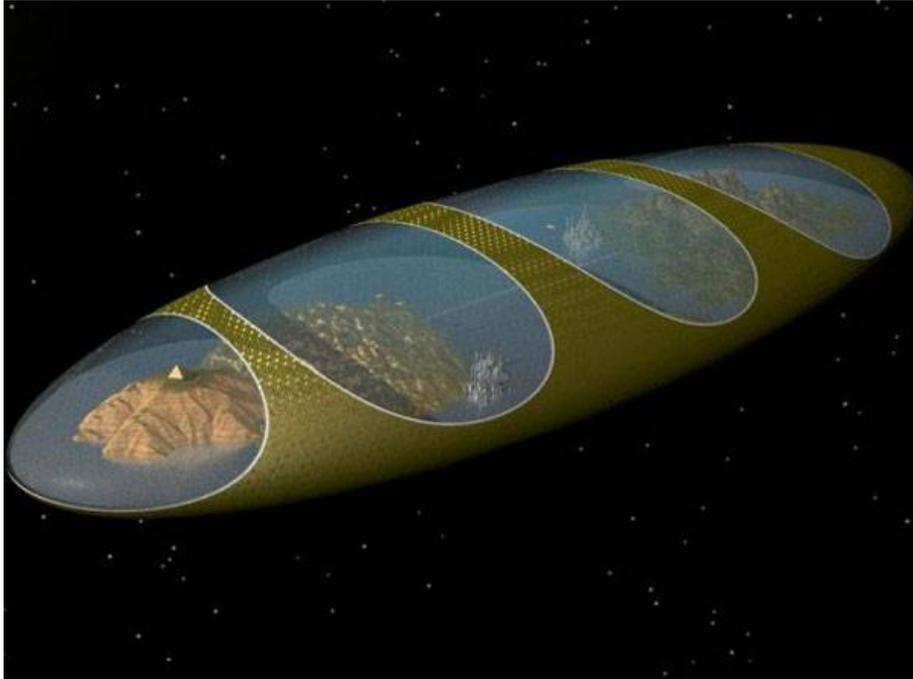
「イルミナティのコントロール下におかれた主流科学」という何気なく言われている言葉に、科学者はドキッとしていただきたい。また、いかにE Tたちが姿を隠して、核戦争の脅威や環境汚染の危険から、我々を救ってくれているかという指摘には、我々全員がハッとして襟を正すべきであろう。この事実については、「ディスクロージャーの嵐が今にもやってくる（抄）」の〈介入すべき時〉というセクション（p. 8）で、デイヴィッド・ウィルコックも指摘している。映画「シリウス」のポイントの一つでもあるらしい。

## 銀河連盟：その全貌

Galactic Federation は、Galactic Federation of Light とも Confederation (of Planets) とも Galactic Federation of Worlds とも呼ばれ、いわば我々の天の川銀河における宇宙旅行文明協同組合である。この連盟は何十万という加盟国家からなり、何百万年も前に、Lyra 星座（琴座）で一連の戦争があった後に創設された。その時に生じた破壊は、それ以来、銀河系での紛争を平和的に解決しようとする、生き残った者たちの試みへとつながった。この宇宙内の、生き物の住むそれぞれの銀河系に一つの同盟があるが、我々のものは最も古い一つである。

この銀河連盟は、いつでも動かせる膨大な数からなる宇宙船団をもっていて、どこでも紛争が起こりそうな所へ行って調停し、必要とあらば介入もする。彼らが利用できる全次元間の（interdimensional）テクノロジーはレベルが高く、我々地球人には想像できないほどである。彼らのエネルギー制御技術はほとんど完璧で、非物質化（dematerializing）とか、姿を消すとか、小さなエネルギー球体を作つてある仕事をさせる（例えばクロップ・サークルを作る）ことなどは、全く問題でない。

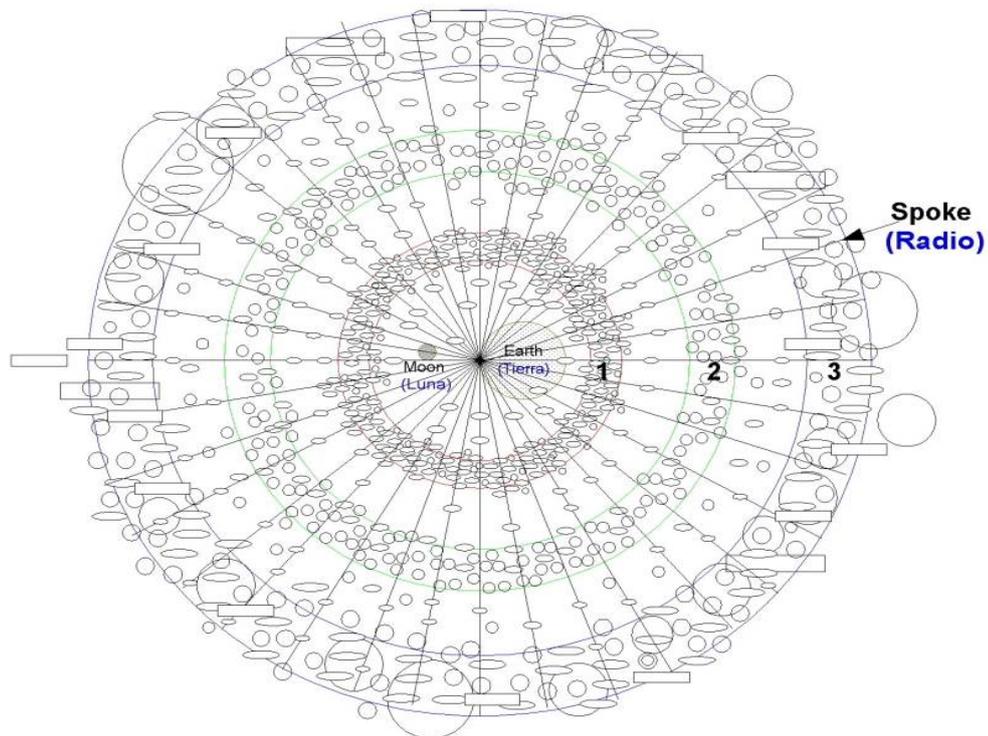
彼らの船（母船）はしばしば生きた材料で作られる。中には惑星ほどの大きさの船もあり、そこには森や野原や川があつて、完全に自己充足的である。この連盟の船団は、加盟国家の船と、若干の単独に運航される船団からなっている。これらの船団のいくつかは、Ashtar とか Hatonn のような、地球上でかなり有名になり、チャネリングされることもある司令官たちによって指揮されている。こうしたチャネリングは 50 年前ころから始まったが、最近では自称霊媒が増えてきており、それらの大半はあまり純粋だとは思えない。



銀河連盟の特に大型船は自己充足的な世界をなしている（この絵は想像図）

この銀河連盟は大きな評議会によって統制されているが、その評議会はより小さな評議会から構成され、それらは更に小さな評議会からなる。そのそれぞれが、別々の加盟者すべてからの代表をもっている。このようにしてこの巨大な組織は運営が可能になっている。メンバー間の階層構造は、通常、彼らの霊的発達によって決定される。最も高度に進化したメンバーは、美しい光の存在であり、神の意志を代弁する人たちである。

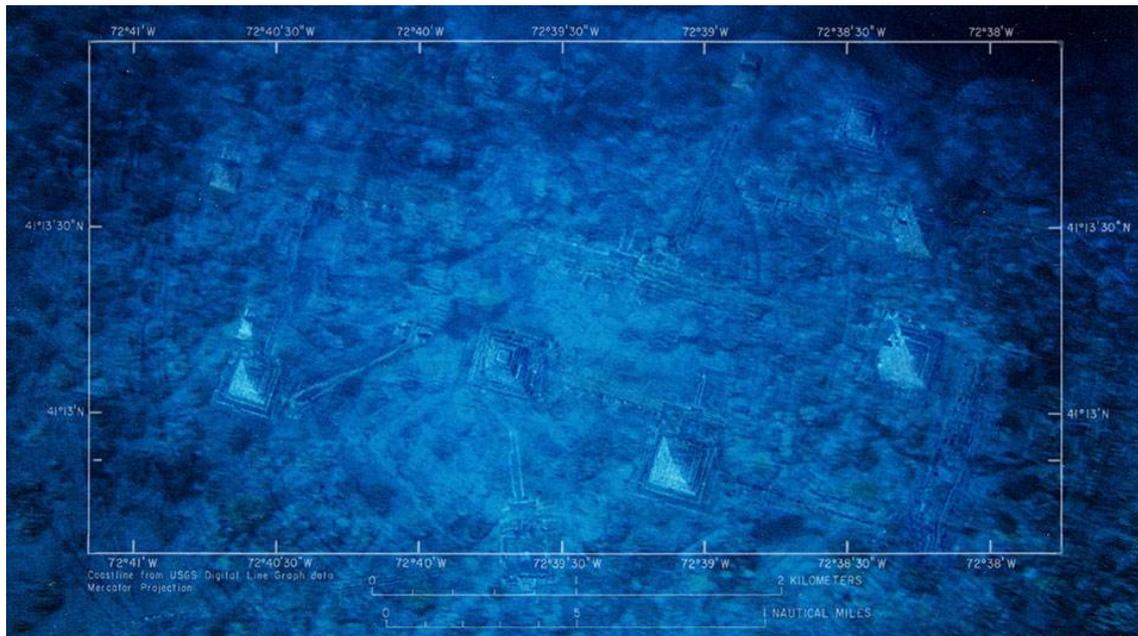
今この時、銀河連盟のかなりの部分が、我々の二重性の時代サイクルの混乱した終末を、幸福な結末へ導くために、地球の回りに結集している。我々の宇宙全体がアセンド（次元上昇）するのだが、地球のアセンションはまた別の話なのだ。現在、地球の回りの上空を飛び交っている何百万もの宇宙船は、ざっと3層に分かれていて、最も外側の層には最も大きな船がいる。ここには静止した合同体があるのではなく、超空間（hyperspace）や太陽のようなスターゲイトを使って、彼らの故郷の惑星や宇宙の他の場所に飛んで行くあらゆる種類の宇宙船の、絶えることのない往来がある。



3層をなす銀河連盟の宇宙船団（もちろんこれは球体をなしている）。彼らは常に地球を監視し、友好的な意図を持たないただ一つの種族も、もう今からは、地球を訪れることがないように見張っている。

地球に住んでいるのは人間であるから、銀河連盟の中の人間の諸文明が、我々のアセンション過程を援助するのに重要な役割を果たすのである。このグループに属するのは、例えば、プレアデス人やシリウス人である。銀河連盟の約 40%が人間 (human) であり、残りは他の種 (species) と光の存在 (light beings) からなっている。彼らの多くは我々と遺伝子的なつながりは持つが、我々よりもっと高度に発達している。

彼らは、何百万年にもわたって我々の惑星を訪れており、建造物や芸術作品など多くの“お土産”を残していった。ただしそれらの多くは、銀河連盟のどの部分にも入らないネガティブな「エイリアン」の訪問者によるものである。地球外存在たちとのこの繋がり、イルミナティのコントロール下におかれた主流科学によって可能な限り隠蔽されてきた（強調訳者）。



プレアデス星団に似た海底のピラミッド複合体。Google Earth によってこれらの座標軸 (41°13' 30" N, 72°41' W) に入ってみると、そこはニューヨーク近くの水深 20~100 メートルの湾、「ロングアイランド湾」であることがわかる。この写真は “The Orion Conspiracy” と呼ばれるものの一部である。

可能な限り宇宙の「不干渉の掟」に従うために、これまで地球人たちとの接触は、銀河連盟によって最小限に抑えられてきた。スイスの Billy Meier, メキシコの Carlos Diaz, アメリカの Howard Menger のような、彼らが直接、接触している人々は、どこかの銀河文明と遺伝的な繋がりをもっていることが多い。この人たちは彼らに代わって地上生活をしているが、それは彼らが後にその経験を共有するためである。これは高次元世界では普通に起こることであって、他者がある経験のエネルギーの中に文字通り入り込み、それを (追) 体験することができる。

友好的な「エイリアン」と地球人との友情が起こるのは、それがもともと計画されたものでない、例外的なものとして起こるにすぎない。たいていの場合彼らは出来る限り背景に隠れている。しかし、アセンションの過程が計画通り進むように、また、必死になってこの計画の邪魔をしようとするイルミナティの行動が効力を失うように、**保証してくれているのは彼らである**。彼らは我々の空気の酸素レベルを一定の水準に保ち、核攻撃や核戦争を防ぎ、放射能物質を除去し、(化学) 汚染やケムトレールや病気を減少させ、人工であるか否かを問わず、自然災害の効果を最小限に抑える、などしてくれている。

彼らの存在をたいていは知っている、地球上の各国の政府首脳が、透明化に踏み切った途

端に、状況は一変するだろう。これまでのところ銀河連盟のメンバーが我々と通信する方法になっているチャネリング情報によれば、彼らは、その時には公衆の前にもっと姿を現し、彼らのすぐれた科学技術の一部を、我々に使えるようにするだろうと言っている。この長く待たれた地球外生命の情報公開は、「ディスクロージャー」とも呼ばれ、ほとんどのチャネリングによれば 2012 年に起こることになっている。

「通常は我々は、直接の接触を避けようとする。それは発展する諸文明が理解への自分自身の道を見出し、彼らの自由意志で経験するように任せることが絶対に必要だからである。もしあなた方を助けたいがゆえに、我々があなた方の進化の経路を変えたりするとしたら、それは全く間違ったことである。我々が干渉するところを見られてはならないと我々があなた方によく説明するのは、そういう理由からである。あなた方のサイクルを計画するのは創造主たちだから、彼らがそうする許可を我々に与えるときは別である。」

——SaLuSa, December 22, 2010, channeled by Mike Quinsey

他の興味あるリンク：

\* [Channel of sphericalwjr08800](#)    コンタクティーの William Roehling は、夜空にビデオカメラを向けて、宇宙連盟の船団（人工衛星ではない）が飛んでいるのを観察することができる。ほとんど毎回、彼らは彼のテレパシーによる要望に応じて、光の信号を送ってくる。

\* [2012 Equation Solved—Part 1/8](#)    アストラル体旅行の訓練をした人々は、最初はやや困難だが、地球の大気を脱し、銀河連盟の船を見つけて、彼らの活動を観察することができる。チャネリングを通じて銀河連盟が伝えてきたところによると、彼らが「覗かれています」とときにはそれが分かる、しかしそれがよからぬ意図をもつものならば、彼らはそのような霊を誘導し遮断することができるという。

(10 カ所の脚注は省略した。)